

【資料 1】

第 19 回日本遠隔医療学会学術大会（JTТА2015 SENDAI）実施報告

1. 会期

平成 27 年（2015 年）10 月 9 日（金）、10 日（土）

2. 会場

仙台市戦災復興記念館

セッション	2 F 記念ホール、B1F 展示ホール、5 F 会議室、4 F 研修室（4 会場）
展示	2 F 記念ホールホワイエ、4 F 第 1 会議室・第 2 会議室（3 会場）
懇親会	江陽グランドホテル

3. 開催の体制

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| 1) 大会長 | 渡辺 みか（東北大学病院病理部 がんセンターテレパソロジーセンター教授） |
| 2) 副大会長 | 中里 信和（東北大学病院 てんかん科 教授） |
| 3) プログラム委員長 | 佐々木 毅（東京大学医学部附属病院地域連携推進・遠隔医療センター長） |
| 4) 事務局長 | 谷内 真司（東北大学病院病理部） |
| 5) 事務局 | 東北大学病院病理部 |

4. プログラム概要

- | | |
|---------------|--|
| 1) テーマ | 日本の遠隔医療の新たな発展を目指して～日本の素晴らしい技術を見直そう～ |
| 2) 特別講演 | 座長 中里 信和（東北大学病院てんかん科） |
| | 演者 Prof. Curtis Lowery（Division of Maternal-Fetal Medicine, University of Arkansas for Medical Sciences） |
| | 演題 The New Healthcare Model: How to use Technology to Provide Low Cost High Impact Care |
| 3) 特別企画 | てんかん症例検討会デモ：遠隔会議システムの有用性 |
| | 共催 ポリコムジャパン株式会社 |
| | 座長 白石 秀明（北海道大学小児科） |
| | 中里 信和（東北大学病院てんかん科） |
| 4) 大会企画シンポジウム | |
| | I. 東日本大震災に学ぶ災害医療のその後～さらなる展開と進歩に向けて～ |
| | －災害医療・救護における宮城モバイル・アセスメントシステム「SCAT-GM」～官民連携の推進と海外展開に向けて－ |
| | 共催 株式会社日本総合研究所、 |
| | 大規模災害時における医療・救護情報システム研究会 |
| | 座長 石井 正（東北大学病院総合地域医療教育支援部 教授） |

東 博暢 (株式会社日本総合研究所総合研究部門戦略コンサルティング
グループ融合戦略クラスター長)
演者 東 博暢 (株式会社日本総合研究所)
石井 正 (東北大学病院)

パネラー

金谷 泰宏 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部 部長)
熊谷 博 (情報通信研究機構耐災害 ICT 研究センター 副センター長)
菊池 尚人 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任准教授)
山口 真吾 (総務省情報通信国際戦略局技術政策課 企画官)

II. 東日本大震災がもたらした医療資源不足に「連携」で立ち向かう

—超高齢化社会を受け止め、災害にも強い医療・介護・福祉三位一体の情報連携—

共催 ソネット株式会社
座長 成田 徳雄 (気仙沼市立病院脳神経外科 科長)
演者 柴田 真吾 (NPO 法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会理事)
村岡 正朗 (医療法人華月会理事 村岡外科クリニック院長)
成田 徳雄 (気仙沼市立病院脳神経外科)

III. Visual Communications System の遠隔医療における役割

—実用レベルになった、VC の医療への活用事例のご紹介—

共催 VidyoJapan 株式会社／丸紅情報システムズ株式会社
座長 楠本 博茂 (VidyoJapan 株式会社 代表取締役)
演者 Annon Gavish (Vidyo Inc. Senior Vice President、Industry Council Chair
of American Telemedicine Association)
川滝 元良 (東北大学大学院医学系研究科融合医工学分野、神奈川県立こども医療センター新生児科)
杉山 久幸 (丸紅情報システムズ株式会社)

IV. 我が国の潜在力の強化と未来社会を見据えた改革：イノベーション・ナショナルシステムの
実現と IT・ロボットによる産業構造改革～遠隔病理を含む遠隔医療の今後の発展にむけて

共催 三啓株式会社／株式会社クラーロ／浜松ホトニクス株式会社
後援 日本デジタルパソロジー研究会
座長 佐々木 毅 (東京大学医学部附属病院地域医療推進・遠隔病理診断センター)
渡辺 みか (東北大学病院病理部 がんセンターテレパソロジーセンター)
演者 佐々木 毅 (東京大学医学部附属病院地域医療推進・遠隔病理診断センター)
渡辺 みか (東北大学病院病理部 がんセンターテレパソロジーセンター)
益池 靖典 (厚生労働省健康局がん・疾病対策課 課長補佐)

特別発言

秋野 公造 (参議院議員、長崎大学客員教授)

5) 一般演題数 A 演題 24 題

B 演題 29 題

6) 周産期分科会 新しい周産期遠隔医療と周産期 ICT の普及と展望

座長 小笠原敏浩 (岩手県立大船渡病院・日本産婦人科医会情報システム委員会)

山田 恒夫（一般財団法人医療情報システム開発センター）
演者 小笠原敏浩（岩手県立大船渡病院）
川滝 元良（東北大学大学院医学系研究科）
原 量宏（香川大学瀬戸内圏研究センター）
樽松 八平（認定 NPO 法人 BHN テレコム支援協議会）
山田 恒夫（一般財団法人医療情報システム開発センター）

7) ランチョンセミナー

- 1 患者情報共有基盤の構築と患者参加型医療の仕組みづくり
共催 インターシステムズ株式会社
座長 植松 裕史（インターシステムズ株式会社代表取締役社長）
- 2 遠隔病理診断の重要性
共催 正晃テック株式会社
座長 渡辺 みか（東北大学病院病理部 がんセンターテレパソロジーセンター）
演者 真鍋 俊明（滋賀県立成人病センター）
- 3 広域地域医療・介護連携ネットワークにおける課題と施策について
共催 株式会社ヘルスケアレイションズ／株式会社ケアコム
座長 横田 元（株式会社ヘルスケアレイションズ 取締役副社長）
演者 佐藤 賢治（NPO 法人佐渡地域医療連携推進協議会理事）
- 4 医療分野における個人データの保護と活用
共催 テクマトリックス株式会社
座長 佐々木 毅（東京大学医学部附属病院地域連携推進・遠隔病理診断センター）
演者 橋田 浩一（東京大学大学院情報理工学系研究科 ソーシャル ICT 研究センター）

5. 優秀演題表彰

- 1) 遠隔医療推進策の動向
長谷川 高志（群馬大学医学部附属病院）
- 2) 在宅人工呼吸器の遠隔監視 アラーム通報の試み
中村 昭則（信州大学医学部附属病院）
- 3) 新しい周産期遠隔医療と周産期 ICT の普及と展望
小笠原 敏浩（岩手県立大船渡病院）

6. 参加者数等

- 1) 参加登録者数 191 人
- 2) 懇親会参加者 88 人
- 3) 展示 22 社 23 小間
- 4) ランチョンセミナー 4 社 2 日間×2 会場

7. 概算費用

総額 1,186 万円

以上。